

●東京家政大学大学院 (令和4年5月1日現在)

	人間生活学	児童学児童教育学	健康栄養学	造形学	英語・英語教育研究	臨床心理学	教育福祉学
専任教員と非常勤教員の比率	7:3	8:2	5:5	9:1	6:4	4:6	5:5
留学生数	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人
海外派遣学生数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

●東京家政大学大学院 (令和4年5月1日現在)

専攻	令和3年度 修了者	進学	就職						未定等	備考(教員内訳)
			教員	他の保険 医療職	他の専門 技術職	事務他	販売他	就職計		
人間生活学	1		1					1		大1
児童学児童教育学	1		1					1		大1
健康栄養学	4		1	1	2			4		大1
造形学	0							0		
英語・英語教育研究	1		1					1		中1
臨床心理学	8			5				5	3	
教育福祉学	0							0		
合計	15	0	4	6	2			12	3	大3、中1

●施設設備その他の教育研究環境

大学院関係施設は、大学16号館2階に大学院の講義室3、院生研究室6、研究科長室／客員教授控室1、事務室1があり、第1～5院生研究室には各5台のWindows PC、第1、2院生室には各1台のMac PC、プリンターを設置する。データ解析ソフトも利用できる研究環境となっている。第6院生研究室は共用プリンター、コピー機を設置している。さらに学内無線LAN環境を完備し、講義室は空時間も利用して研究できる環境を準備している。実験系の施設設備、実習施設としての臨床相談センター、指導教員の学生指導室、図書館、保健センター、食堂等の施設設備は大学と共用している。

●学生の学修、進路選択及び心身の健康等に係る支援

大学院における、学生の学修、進路選択への支援は、研究指導教員をはじめとする教員による指導、支援及び学生支援センターキャリア支援課の大学院担当窓口と大学院事務室の職員による相談、情報提供等による。心身の健康等に係る支援は、研究指導教員等、大学院事務室の支援とともに、大学保健センターで専門職員による相談が可能な体制をとっている。

●国際交流・社会貢献等の概要 (詳細はグローバル教育センター、臨床相談センターのページ参照)

大学グローバル教育センターの協定校との国際交流プログラムに大学院生も参加できる。留学中の授業料減免も実施している。臨床心理学専攻の実習施設として学内に設けた臨床相談センターによる学外者の相談活動を、臨床心理士資格を持った指導教員とともに大学院生も担当し、地域社会に貢献している。大学院連携校はない。大学院生の研究活動の中で企業、行政等との連携が実践されている。